

F: 医療経済・社会科学

社会科学 No.2

医療費はなぜ増えるのか ― 診療報酬・保険制度・高齢化を経済学で読む

導入文

「高齢化で医療費が増える」という事実を知っていても、「なぜ医療費は市場原理で抑制されないのか」「診療報酬はどう決まるのか」「混合診療の問題とは何か」を経済学的に説明できる生徒はほとんどいない。医療経済学の基本的な視点を持つことで、医療制度論述・面接の深度が格段に上がる。

講義概要

医療費増大の構造を「情報の非対称性（医師と患者の知識格差）」「モラルハザード（保険加入による過剰需要）」「需要の非弾力性（病気は選べない）」「高齢化・技術進歩」の4要因で体系化する。診療報酬制度・国民皆保険の意義・混合診療問題・医療費の国際比較まで整理し、医師志望者の制度的視点を育てる。

授業目標：医療費問題を「高齢化のせい」から、経済学的構造として理解して論じられる状態へ変える。

対象者：高2～高3・浪人生。医学部・医療政策系志望で、医療経済学の視点から医療制度を理解したい生徒。

授業時間：授業90分＋演習・質疑応答30分

到達目標：医療の情報の非対称性とモラルハザードを説明できる／診療報酬制度の仕組みを概説できる／混合診療問題を賛否の論点で整理できる

授業構成（90分）＋演習・質疑応答（30分）

授業90分：1 導入：「なぜ医療は市場原理が機能しにくいのか」を問いとして提示 2 情報の非対称性：医師と患者の知識格差が市場を歪める 3 モラルハザード：保険加入が過剰受診を生むメカニズム 4 需要の非弾力性：病気の治療は「値段が高いから諦める」が難しい 5 診療報酬：点数制度・DPCの仕組みと医師行動への影響 6 混合診療問題：自由診療と保険診療の併用禁止の論点 7 演習：「医療費抑制のために何ができるか」を経済学的に論じる

追加30分：「混合診療解禁の是非」を医療の公平性・経済効率・医師の役割から300字論述する演習と質疑応答を行う。

板書・スライド骨子：医療費増大の4要因の整理図／診療報酬の仕組み／国民皆保険の意義と課題／混合診療問題の賛否論点

課題：「医療費増大に対して医師としてできることは何か」を情報の非対称性・モラルハザード・制度的対応の3軸から300字で論じる。

備考：高校・予備校の先生方／編入学試験および大学院受験への橋渡しの基礎確認をしたい方にも対応。